

おわりに

本年度は新学習指導要領の完全実施の年にあたります。本校ではこの間、他に先駆け一年前倒しで実践をおこない、研究を推進してきました。平成11, 12年度の2年間にわたり「自己の学びを深める」を研究主題に掲げ、新世紀を迎える中、子どもにつけたい力とその指導のあり方を研究してきました。そして、新学習指導要領に基づく新しい学習内容として本校の教育課程「ピースタウン・カリキュラム」を作成し、皆様に提案してきたところです。

本年度、新学習指導要領の完全実施にあたり、めまぐるしく変容する社会の現状の中において、これからの学校はどうあるべきかという原点に立ち返り、自ら問い直すことから新しい研究をスタートいたしました。具体的には昨年(平成27)の第52回研究発表会終了後に新テーマ設定委員会を設置し、「新しい学校づくり」をキーワードに、とりあえず「5年後の学校像」を模索していく作業から始めました。話し合いの中で、教科の再編、異学年学習、教科担任制、基礎・基本の徹底、幼小中高の連携、評価、選択などいった多くの課題が出されました。

本年に入り、新テーマ設定委員会からの報告を受け、「創発のある学び舎」を研究主題に掲げ新たな研究の第一歩を踏み出しました。具体的な研究の重点として、①各教科・道徳のとらえなおし②総合学習の見直し③選択学習の実施④委員会活動に替わる縦割り活動の新設の4点に絞り込むと共に、日課表の検討や学校行事の厳選等、運営上の大幅な見直しも平行しておこなうこととしました。

昨年度までの取り組みを一部継続する中で、新しいことを始めるに当たって年度当初、何度も議論を重ね共通理解を図ってきました。そして4月以来実践をおこなう中においても、軌道修正をしながら取り組んできました。この研究紀要は4月以降取り組んできた実践をまとめたものです。正直申しあげまして、まだまだ研究が緒についたところで、研究の成果をご報告するまでには至っていない現状です。研究発表会を機会に今後の研究の方向に対し皆様よりご示唆をいただければ幸いに存じます。

話は変わりますが、すでにご承知のように、国立大学附属学校園は現在、大変厳しい問題を抱えています。国立大学の統合・再編問題、さらには教育学部の全国的な見直しの問題、さらには国立大学の特別行政法人化の問題と学校の存続にも関わる大きな課題が目前に迫っています。附属学校としての任務を再度私たち教職員が確認し、教育学部や他の教育機関と連携をし、地域の中で今まで以上に情報の発信を行うことが必要とされます。また、本校での教育実証研究を是非、地域公立学校との連携の中で深めていくことも重要となると考えています。そのような意味からも、皆様方の忌憚のないご意見、ご指導を賜りたくお願い申し上げます。

金沢大学教育学部附属小学校

副校長 三田村 英 明

研 究 同 人

金沢大学教育学部附属小学校
 校 長 三 好 義 昭
 副 校 長 三 田 村 英 明
 学 内 教 頭 菖 蒲 田 英 夫

国 語 科 社 会 科 算 数 科 理 科 生 活 科 音 楽 科 図 画 工 作 科 家 庭 科 体 育 科 道 徳 教 育 情 報 教 育 保 健 教 育	石 川 誠 山 岸 郁 生 押 野 正 憲 釣 本 直 行 坂 井 文 代 乘 富 章 子 大 峯 誠 水 野 郁 代 安 田 一 志 宮 島 浩 典 小 林 弘 二 木 戸 壽 和 子	田 川 信 子 松 下 浩 一 前 田 倍 成 齊 官 重 治 石 野 里 佳 荒 木 泰 彦 谷 本 克 典 牧 山 村 明 子 居 村 明 子 木 戸 壽 和 子 安 田 一 志 宮 島 浩 典 乘 富 章 子 齊 官 重 治 荒 木 泰 彦 大 峯 誠	山 口 久 代 笹 山 明 夫 古 川 雄 次 丹 後 京 子 濱 田 弘 一 石 野 里 佳 濱 田 弘 一 居 村 明 子 丹 後 京 子 前 田 倍 成 谷 本 克 典 山 口 久 代
選 択 ゼ ミ 部 会	坂 井 文 代 石 川 誠 松 下 浩 一	木 戸 壽 和 子 安 田 一 志	石 野 里 佳 濱 田 弘 一
英 語 領 域 部 会	古 川 雄 次 笹 山 明 夫 山 岸 郁 生 水 野 郁 代	宮 島 浩 典 乘 富 章 子 齊 官 重 治	居 村 明 子 丹 後 京 子 前 田 倍 成
情 報 領 域 部 会	田 川 信 子 押 野 正 憲 小 林 弘 二	荒 木 泰 彦 大 峯 誠	谷 本 克 典 山 口 久 代

旧 同 人

吉 川 昌 博 浅 田 幸 子 邑 井 吉 治
 興 井 綾 子 才 鷹 一 博 松 中 基